

令和 5 年度 大学塾 第 1 ステージ 開催案内

中世古文書講座 徳川家康関係の文書

三河国の小領主から、織豊政権の大大名へ、そして天下統一を継承して江戸幕府を開き、太平の世を築いた徳川家康について、家臣やさまざまな分野の側近など政権を支えた者達の文書や自筆書状から歴史的な事績を追い、大名そして天下人としての家康の実像に迫ります。

講 師：高梨 真行 氏

宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官 元文化庁文化財調査官

日 時：6月4・11・18日(日曜日)全3回 午後2時~4時

会 場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階研修室 1

講義内容：第 1 回 大名徳川家の文章

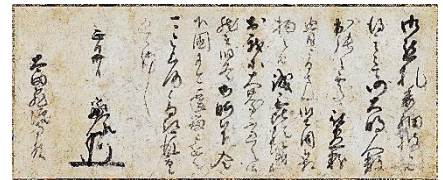
~徳川家康朱印状

第 2 回 家康家臣・側近の文書

~年寄奉書、代官連署状から老中奉書へ

第 3 回 家康の自筆書状

~関ヶ原の戦い、家族の私信



徳川家康自筆書状 慶長 3 年
(九州国立博物館蔵)

令和 5 年 4 月 月例会 開催報告 絵画鑑賞「アートを楽しむ」

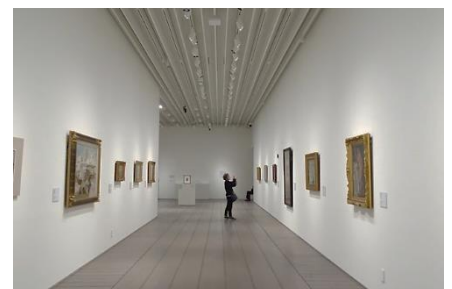
4 月月例会は「アートを楽しむ」テーマで、アーティゾン美術館へ絵画鑑賞に行きました。参加者 8 名と少し少ない人数でしたが、東京駅から春の暖かな日差しと爽やかな風を頬に心地よく受け、都心を散歩しながら美術館へ着きました。6 階建てのガラス張りビルの美術館はさすが石橋財団、とてもおしゃれな感じですよ。入館券をチェックしてもらい 6 階まで上がるといきなり真っ暗な部屋にわずかな照明とレコードのようなものがある空間、一瞬何だ…? とビックリでした。ダムタイプというアート・コレクティブの先駆けて、ヴェネチア・ピエンナーレ国際美術展日本館展示帰国展だということです。

5 階からは絵画の展示がたくさんあり、各人がそれぞれ自由にスマホのイヤホンで絵画の説明を聞きながら 4 階、3 階と見ながらおりました。3 つのセクションがあり、肖像画のひとコマ、風景画への旅、印象派の日常区間と分けて展示されており、有名な画家の絵がたくさんあるのも驚きでした。

洋画家ではレンブラント、マネ、セザンヌ、マティス、ピカソ、ルオー、ゴッホ、ユトリロ、ルノワール、ゴーガン、ボナール、モネ、モリゾ、ドガ、カイユボットなど、日本画家では青木繁、岸田劉生、藤島武二などの画家たちです。作品がとても多く見ごたえがありました。人も混んで居らず、ゆったりと鑑賞できました。展示絵画のほとんどがアーティゾン美術館所有の絵画だということです。

昨年、絵画講座の講師をしていただいた島田紀夫先生のご厚意でアーティゾン美術館の絵画を見ることができ、大変感謝しております。参加されたみなさん、お疲れさまでした。

(ボランティア活動推進部)



令和5年度 第1ステージ 開催報告

日本経済入門講座 2023 ～円安・食料・エネルギー～ 講師:柴田 寛 氏 元農林水産省 課長職

令和5年度の最初の講座として4月1日・8日・15日に開催されました。応募者は38名、第1回34名、第2回32名、第3回30名で延べ96名でした。
長期低迷が続く日本経済にもエネルギー不足による価格の高騰、物価上昇、急激な円安等の影響が及んでいる。内外の最新のデータや図表を用いて細部に亘り分かり易く解説いただきました。

第1回・・・急激な円安の背景と影響を考える。

1. 昨年来、円安はどの程度、進行したか？
2020年から1ドル110円前後で横ばいであったが、2022年に入り急激な円安となり10月にはピークとなる150円を超えた。直近では130円～135円程度となっている。
2. なぜ急速に円安が進行したか？
今回の円安は、アメリカの「政策金利」による影響が大きく、次いで「経済成長」と「貿易収支」も影響した。昨年度は21兆7285億円の赤字となり1979年以降最大となった。
3. 円安はプラス・マイナスどのような影響を及ぼしたか？
「円高は日本経済にマイナスで、円安はプラス」という一面的な見方が有力とされていたが、経済変動は常にプラス面とマイナス面の両面に影響を及ぼすことが再確認された。

第2回・・・我が国の食料の安定供給を考える。

1. 我が国の食料自給率の実態は？
食料自給率として、主食の米の大幅減少、肉・乳製品の増加等、食生活の大きな変化により供給熱量（カロリー）自給率は低下傾向にあり、2021年は38%となっている。
2. 我が国の食料消費はどのように変化してきたのか？
減少した食料は米、野菜、果実、魚介類の4つ。米はピークの1962年度から2021年度は▲56.5%も激減し、「日本人の主食」としての地位が危うくなっている。
3. 日本人が消費する熱量（カロリー）はどのように変化してきたのか？
消費する熱量には供給熱量と消費熱量があり、「供給ベース」と「消費ベース」の大半を加工段階又は消費段階で廃棄された「食品廃棄」とみなされ、徐々に拡大している。
4. 農業の生産構造の問題点は何か？
耕地面積・農業就業者の大幅な減少により長期的に低下してきたが、近年横ばいで推移。近年、農業法人や非農家出身の新規就農の増加等農業生産を変革する新たな動きに注目。
5. 食料の安定供給に向けて求められていることは何か？
昨年来のウクライナ戦争等のリスクを考慮すると、将来的にも食料の安定供給を維持する取組が必要。その際、食料自給力の向上、安定的な輸入、適切な備蓄が基本である。

第3回・・・世界のエネルギー供給と日本を考える。

1. 我が国のエネルギー自給率の実態は？
戦後10数年間、我が国のエネルギー自給率は国産石炭により50%を超えていたが、石炭から安価な石油に変わり、世界的なエネルギー革命により自給率は急速に低下した。原子力の登場で一時期20%に上昇したが、2011年の福島原発事故を経て、現在は10%強。
2. エネルギーの生産・加工・消費の実態は？
エネルギーの生産段階として、主役が石炭から石油に変わり、新たに登場した天然ガス、原子力、水力以外の再生可能エネルギー（太陽光、風力等）のシェアが拡大している。
3. 世界のエネルギー需給の実態は？
世界の一次エネルギーの実態は右肩上がり増加が続く、人口増加や経済発展によるものであるが、日本は15年前から減少傾向に入っており、2020年はピークに比べ2割減少。

≪受講者のご意見≫

- ・円安・食料・エネルギーの問題は身近なものであっても詳しい説明を聞く機会がなかったので大変よく理解できました。表やグラフもあり比較もできてよかったです。
- ・実生活でなかなか経済を学べる機会がないので大変勉強になり、先生のお話はわかりやすく面白いのであっという間に過ぎました。開催日が休日なので働きながら参加できて嬉しいです。
- ・今回初めて日本経済入門講座に参加しました。説明の内容、資料共に大変わかりやすく理解を深めることができました。ぜひ次年度も参加させて頂きたいと思っております。

＜篠原英也＞



令和5年4月 運営委員会 報告・連絡

日 時 : 令和5年4月3日(月) 14:30~
場 所 : 生涯学習センター:5階 研修室4

報告事項及び議事

(1) 月例会開催について

- ・3月の月例会は3月24日(金) 午前11時~「陽光桜を見る会」
場所: 都立汐入公園 隅田川沿い(荒川区)
参加者14名で久々にお花見が開催されました。
- ・4月の月例会は4月11日(火) 午前10時~ 絵画鑑賞
アーティゾン美術館(旧 プリチストン美術館)にて「アートを楽しむ」
入館券を島田紀夫講師より提供いただきました。
- ・5月の月例会は5月23日(火) 午後3時~ 令和5年通常総会 研修室4
総会終了後、月例会・懇親会開催

(2) あだち区民大学塾(検討会議・企画会議)

- 3月 中世を読み解く『日記』 受講者 36名 大関 直人 講師 3/4,11,25(土)
- 4月 日本経済入門2023 応募者 37名 柴田 寛 講師 4/1,8,15(土)
- 5月 室町時代 足利将軍と三管領 応募者 25名(4/3現在) 平野 明夫 講師 5/15,22,29

(3) 令和4年度事業報告、令和5年度事業計画の報告

学習支援部・ボランティア活動推進部・広報グループ・事務局 各部局長より報告

(4) 各部局・PTからの報告および提案

① 学習支援部

- ・5/12(金) 講座実施報告書製本作業

② ボランティア活動推進部

- ・4/11(火) 月例会 アーティゾン美術館にて絵画鑑賞 北千住駅集合9:20
- ・4/14(金) ボランティア活動推進部会
- ・サークルフェア2023(10/7・8) 参加申込 参加費3,000円

③ 事務局

- ・4/4(火) 14:00 ニュース発送、4/11(火) 14:00~ 事務局部会
- ・総会関連の日程: 4/21(金) 14:00 理事会、4/24(月) 14:00 監査会、
5/1(月) 15:30 決算理事会、5/23(火) 15:00 通常総会

④ 広報グループ

- ・楽学ニュース294号発行 メルマガ HP更新

(5) その他

- ① 令和5年度4月~5月事務局当番の募集・・・4/17(月)まで決定、会員に配布
- ② 事務局より、ホームページの契約者を個人から法人に変更手続きを行う。
- ③ 5/23(火) 17:00 総会終了後懇親会を開催、場所は後日、担当ボラ活部にてお願いします。



西新井大師(樹齢700年の野田藤)



西新井大師(第2牡丹園)

次回運営委員会 5月1日(月) 14:30から(研4)

◎講座名：イタリアの都市の魅力と 美の建築様式探訪の旅

日 時：6/17(土) 午後1時30分～3時
 対 象：16歳以上の方
 会 場：5階 研修室1
 受講料：800円
 定 員：40人(事前申込先着順)
 講 師：横手 義洋氏(東京電機大学未来科学部
 建築学科 教授)
 内 容：一度は訪れてみたい歴史の国イタリア。
 ローマやミラノ、フィレンツェなど、個性あふれる
 都市の魅力や美しい建造物について学ぶ旅に出
 てみませんか。

◎講座名：信仰の造形と仏像 観音菩薩

日 時：6/24(土) 午前10時～正午
 対 象：16歳以上の方
 会 場：5階 研修室1
 受講料：800円
 定 員：対面60人(事前申込先着順)
 講 師：生駒 哲郎 氏
 (東京大学史料編纂所 職員)
 内 容：立体的に表された仏像は様々ありますが、
 その形や意味をご存じでしょうか？この講座では
 仏像の形を通して、その意味を正しく学び、仏教
 の考え方などを理解しましょう。受講後は、仏像
 を鑑賞する楽しみが一層広がりますよ！



お申込みは：電話(03-5813-3730)又は直接窓口
 インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
 イベント・講座情報→講座予約システム

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座の
 中止、延期の場合もございます。予めご了承ください。

令和5年5月「月例会」のご案内

5月23日(火) 午後3時～5時 研修室4
 テーマ：「令和5年 通常総会」開催
 総会后「月例会」を行います

令和5年6月「月例会」のご案内

6月14日(水) 午後3時～5時 研修室4
 テーマ：令和5年度足立区生涯学習の施策
 講演：生涯学習支援課長 内田和男氏
 ：生涯学習センター新年度の方針
 講演：生学センター所長 平野昌暁氏

*皆様の積極的な参加をお待ちしています。

(ボランティア活動推進部)

- ◎ 運営委員会
5月 1日(月) 午後2時半～4時 研修室4
- ◎ 総会・月例会
5月23日(火) 午後3時～5時 ワークルーム
- ◎ 学習支援部
5月23日(火) 午後1時～2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
5月10日(水) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
5月 2日(火) 午後2時～4時 ニュース発送
5月16日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
5月23日(火) 午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議
5月 1日(月) 午後1時半～2時半 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
5月 8日(月)

★お問い合わせ＆ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
 事務局 江川武男 電話:090-3105-8140
 E-Mail : takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

編集後記

脱炭素化社会に向けての取り組み(その5) 実現に向けてのグリーン成長戦略

グリーン成長戦略では、2050年カーボンニュートラルに向けた道筋として、電力部門では脱炭素電源の拡大、産業・民生・運輸(非電力)部門(燃料利用・熱利用)においては、脱炭素化された電力による電化、水素化、メタネーション、合成燃料等を通じた脱炭素化を進めることが必要としています。こうした電源や燃料の転換を行ってもなお排出されるCO2については、植林やDACCS(炭素直接空気回収・貯留)などを用いて、実質ゼロを実現していくこととしています。政府としては、グリーンイノベーション基金をはじめ、税、規制改革・標準化、国際連携などあらゆる政策を総動員して、グリーン成長戦略を実行し、企業の前向きな挑戦を全力で後押ししています。

日本は、「水素」・「自動車・蓄電池」・「半導体・情報通信」・「食料・農林水産」の4分野で首位、他の6分野(洋上風力、燃料アンモニア、船舶、カーボンリサイクル、住宅・建築物/次世代型太陽光、ライフスタイル)でも世界第2位又は第3位となっており、比較的高い知財競争力を保有していると言えます。日本が首位になっている分野について、個別に概観すると、「水素」と「自動車・蓄電池」は、日本が他国と比較して強い分野と言えますが、両分野において日本の自動車メーカー・自動車部品メーカーが高い知財競争力を持ち、他国企業を大きく離していることが要因となっています。「半導体・情報通信」については、上位50社中19社を日本企業が占めており、半導体の素材から製造装置、情報通信機器・システムまで幅広い企業が上位に入っています。「食料・農林水産」では、日本の農業用機械の特許が強く、欧米の化学メーカーを抑え上位に入っています。

(次号へつづく)

金子 記